



interview for

京都女子学園



京都女子大学

サイボウズ Office から移行し全学共通基盤を構築 クラウド化でテレワークも可能に



事業概要

「親鸞聖人の体せられた仏教精神にもとづく人間教育」を建学の精神とし、幼稚園から大学院まで一貫した教育環境を提供している学校法人京都女子学園では、2004年から約16年、オンプレミス環境でパッケージ版サイボウズ Office を運用してきました。

しかし全学共通の情報共有基盤を構築すべく、クラウド版 Garoon へ移行。ワークフロー製品「X-point」とあわせて業務基盤を整備しています。その経緯について、京都女子大学 総務部 情報システムセンター 課長 姑射博章（こやひろあき）さんと法人本部 法人事務室 川上和教（かわかみかずのり）さんにお話を伺いました。

導入前の課題

500名規模での安定稼働、 学外からのアクセスが課題に

— 貴学の特徴とお二人の業務内容について教えてください。

姑射さん：京都女子学園は幼稚園から大学院まで一貫教育を行っており、同じ敷地内に幼稚園、小学校、中学校、高校、大学・大学院があります。学園全体での行事など、学校間での連携が必要な仕事もあります。私は大学の総務部情報システムセンターに所属していますが、学園全体の IT システムを管理しています。

川上さん：私が所属する法人事務室では理事会に関する業務などを行っています。IT システムに関する業務としては、全学でのワークフローシステム導入に関わっています。法人事務室で業務を整理して起案し、情報システムセンターと一緒に展開しています。



総務部 情報システムセンター 課長
姑射 博章さん

—幼稚園と大学事務、附属小学校で、それぞれサイボウズ Office を導入されており、それらを統合する形でクラウド版 Garoon を導入されたと伺っています。以前はどのようにサイボウズ製品をご利用だったのですか？

姑射さん：幼稚園を含む大学の事務職と附属小学校で、それぞれ別のサイボウズ Office を契約していました。どちらもスケジュールやメールを中心に活用していました。

2018年頃、文部科学省からの要請を受け、学園全体で教職員の労務管理の厳格化が必要になりました。そこでサイボウズ Office の利用を全学に拡大し、タイムカード機能を使って紙の出勤簿による勤怠管理から脱却しようとしていました。大学の専任教員や中学などの教職員を含めた約500人で使えるよう、大学の事務で利用していた方の環境をサイボウズ Office の無制限版ライセンスに切り替えたのです。

—勤怠管理をきっかけにご利用範囲が全学に広がったのですね。

姑射さん：勤怠管理に限らず、学校横断のプロジェクトや全学の行事など、情報を一元化する方が便利なことは多々あります。会議の日程調整や全学への通達もやりやすくなると思いました。ただ、当初と比べて倍以上の500人規模で利用する環境になり、サイボウズ Office ではレスポンスが悪くなってしまいました。



グループウェア統合の経緯

—学外からの利用についても課題があったと伺いました。

姑射さん：オンプレミス環境でサイボウズ Office を運用しており、学外からアクセスできませんでした。教職員からは「出張のときにスケジュールを確認できなくて不便」といった声も……。学園内全体に拡張していくには、多くの方がアクセスしやすい環境が必要です。従来のようなオンプレミス環境ではなく、クラウドの利用が最適だと考えました。**500名規模での快適なアクセスとクラウド環境を求めて、サイボウズ Office からの移行**を検討したのです。

—全学への利用拡大とクラウド移行の他に、取り組みたかったことはありますか？

川上さん：同時期に法人本部では、紙で運用してきた申請の電子化を検討していました。それまでの運用は、紙で申請書を作成し、上長に押印してもらうアナログなものでした。処理の迅速化と業務の効率化という点でワークフローの導入検討が始まり、姑射さんに相談を持ち掛けました。

姑射さん：申請に不可欠なワークフローと連携すれば、日常的にグループウェアが利用されるようになり、勤怠情報もきちんと入力されるはず。そう考えて、**双方をうまく連携させる仕組みづくり**にも取り組むことになりました。



法人本部 法人事務室
川上 和教さん

取り組みたかったこと

全学での勤怠管理を行いたい

学外から利用しやすくしたい

要件

タイムカード機能を持つ
グループウェアの利用を全学に拡大する

申請に不可欠なワークフローと
連携させてログインを促す

クラウド製品に移行する

グループウェア移行の要件

サイボウズ Office から 迅速かつ負担なく移行でき、 アクセス権設定も充実

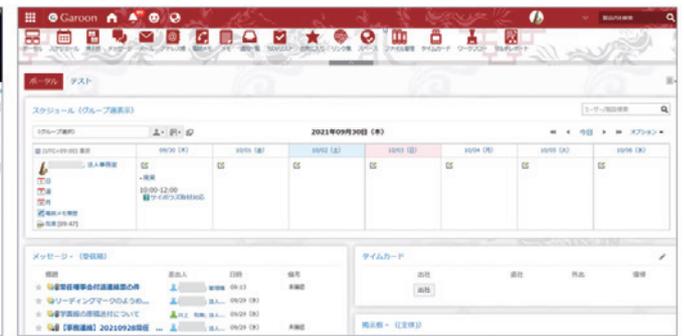
——500名規模での快適なアクセス、クラウドでの利用、ワークフローとの連携を要件として、製品選定はどのように進めたのですか？

姑射さん：お付き合いのあるベンダーから「同じサイボウズ製品でも Garoon であれば数百名以上の規模でもスムーズに利用できる」と聞いて、クラウド版 Garoon の導入検討を始めました。サイボウズ Office が便利だったので、サイボウズ製品から変える理由はありませんでした。全く新しいツールを一から展開すると、エネルギーも時間もかかってしまいます。対して Garoon であればバージョンアップの感覚で移行できます。サイボウズ Office から迅速かつ負担なく移行するために Garoon を選びました。

サイボウズ Office



サイボウズ Garoon



サイボウズ Office と Garoon は画面が似ており、スムーズに移行しやすい（※画像はイメージです）

姑射さん：また、幼稚園から大学院まで学園全体で利用するとなると、たとえば大学だけで共有したいスケジュールなども当然出てきます。情報の公開範囲を制御しやすい Garoon であれば、現場の運用に合わせられると考えました。

——ワークフロー製品はどのように選定されましたか？

川上さん：スムーズに学内へ展開するために、従来の申請様式を再現できることが重要でした。そのため、グループウェアのワークフローではなく、紙の様式を再現できる X-point を選びました。複数のツールを利用することにはなりますが、Garoon と X-point であればシングルサインオンが可能ですし、Garoon 上で X-point での承認状況を確認できます。このように業務の入り口として拡張していける点も Garoon は魅力的でした。

導入の決め手

- 大規模でも利用できるクラウド製品である
- サイボウズ Office からスムーズに移行できる
- 細かなアクセス権ができ、現場の運用に合わせられる
- ワークフローなど他製品との連携性が高い

導入の決め手

導入効果

全学共通の基盤で 情報共有がスムーズに クラウド活用でテレワークも

—現在はどうのように Garoon をご利用中ですか？

姑射さん：2020年5月に小学校、幼稚園と大学で利用していたサイボウズ Office の環境を Garoon へ統合し、現在は約200名が利用しています。スケジュールやメッセージ、メール、掲示板、タイムカードと、サイボウズ Office 時代から変わらず活用できています。Garoon は大規模での稼働実績もありますし、いずれは全教職員に向けて展開していく予定です。

—グループウェアを統一したことで、どのような効果がありましたか？

姑射さん：学園全体の勤怠を管理できるようになったことに加えて、全学共通のお知らせを掲示板で一斉に出せるようになりました。これまでは大学と小学校で別のサイボウズ Office に書き込んだり、紙で配ったりしていましたが、Garoon で一斉に周知できるようになり、伝達漏れの防止、情報共有の時間短縮につながっています。「Garoon に書き込めば管理職がきちんと確認してくれる」と安心の声も聞きます。

★ 令和3年度の火災総合訓練の実施について（お知らせ）

カテゴリ：(全体)
 差出人：総務課（[ユーザー](#)）；総務課 2021年11月02日（火） 09:08
 最終更新者：[ユーザー](#)；総務課 2021年11月02日（火） 09:08
 掲示期間：2021年11月02日（火）～

各位

令和3年度の大学における火災総合訓練を以下の日程にて実施いたしますので、よろしくお願いたします。
 詳細については追って、ご依頼・ご案内をいたします。

記

- 日時 令和3年11月24日（水）14時00分～14時40分
 （学生は14時30分まで）
- 場所 京都女子大学東山キャンパス（B校舎）
 大学B校舎構内を対象とし、講義時間中の火災発生を想定し、避難方法や
 避難経路、火災発生時の初動等を確認・検証する。
- 対象 大学教職員、学生
- 協力 東山消防署
- スケジュール
 13時45分～14時00分 訓練準備、打合せ
 14時00分～14時30分 訓練

掲示板を使った全学へのスムーズな情報共有が可能に

姑射さん：学内だけに限定した情報はメッセージでやり取りしています。一部のスケジュールには、学校ごとにアクセス権を設定しています。「完全にオープンだと困るが関係者では共有したい」という場合もありますから。

——オンプレミスでの運用からクラウドに移行した効果はいかがですか？

姑射さん：家からでもスケジュールやメッセージを確認できるようになり、テレワークでも大いに役立っています。管理者としては、サーバ管理の負担を大きく軽減できますし、常に最新の機能を利用できるのもメリットです。また、学園内に環境があると、万が一自然災害が発生した際に連絡手段がなくなってしまうリスクもあります。BCPの観点からもクラウドが最適です。

——Garoon と X-point の連携についても教えてください。

姑射さん：X-point には標準で Garoon との連携機能があり、Garoon のポータルで X-point の通知や処理状況を確認できます。ワークフローのためだけに別のツールを立ち上げる必要はないので、スムーズに承認作業を進められます。



Garoon は X-point との連携アダプタがあり、ポータル上で X-point での承認状況の確認や申請の検索が可能

姑射さん：Garoon と X-point の認証には CloudGate UNO（クラウドゲート ウノ）を利用し、**シングルサインオン**できるようにしています。それぞれにアクセスするたびに認証が必要だと不便ですから。

川上さん：まずは職員の利用から始めており、出張先からでも手軽に承認できると管理職の方からも好評です。以前は承認までに 1 か月ほどかかっていた申請もありますが、半分以下程度に短縮できています。

	Garoon 導入前	Garoon 導入後
レスポンス	・ 500 人規模での利用でレスポンスに課題	・ 大規模での導入実績があり安心
全学へのお知らせ	・ 複数のサイボウズ Office に書き込む ・ 紙で配布	・ 掲示板で一斉に周知できる
スケジュール管理	・ 複数のサイボウズ Office や個人で管理	・ Garoon で一元管理 ・ 適切にアクセス権を設定
学外アクセス	・ 学外アクセスできない	・ 学外アクセス可能になり、テレワークを導入
申請	・ 紙で運用	・ X-point で申請を電子化し、Garoon 上で確認

Garoon の導入効果

—グループウェア移行となるとデータ移行や利用浸透が課題になるケースが多いです。サイボウズ Office からの移行においてご苦労はありましたか？

姑射さん：特にありません。データはメールや掲示板などほぼ全て移行しました。移行作業はサイボウズ オフィシャル パートナーに依頼したので負担はありませんでした。データ移行できたからか、教職員からの不満もほぼありません。

今後の展望 Garoonを情報基盤の核にしたい

—現在のところ Garoon やワークフローは大学を中心に展開されています。今後はどのように展開する計画ですか？

姑射さん：現在は大学の職員、附属小学校や幼稚園を中心に利用していますが、大学教員や中学校、高校の教職員にも展開する予定です。申請・承認に不可欠なワークフローを全学に展開する際に、Garoon もあわせて使っていただこうと考えています。また、大学では Word や PowerPoint などを利用できるよう Microsoft 365 を導入しています。教職員で利用する Garoon と授業で利用する Microsoft 365 を、うまく整理したいです。える化をさらに推進していきたいです。

—今後の展開でも、Garoon のポータル画面を中心に各システムを連携させていくイメージですか？

姑射さん：情報やツールへの入り口を集約できるよう、できる限り 1 つのポータルにまとめようと考えています。Garoon に集約すれば業務をワンストップにできます。給与明細のように Garoon 上に掲載しづらい情報でも、気になるときにすぐアクセスできるよう、入り口だけは Garoon に用意しておくといったことも検討したいですね。今後のシステム導入では、Garoon と連携できることを前提に調達すると思います。

—学園全体の情報共有基盤としてはどのようにお考えでしょうか？

姑射さん：コミュニケーションという意味でもシステム連携という意味でも、Garoon を核として学園をつなげていきたいと考えています。たとえば、Garoon のポータルで情報を発信すれば紙でのお知らせよりも目にしてもらいやすいですし、何かあればメッセージを使って学校の垣根を超えたやり取りができます。幼稚園から大学院まで、同じ敷地内と言っても施設は離れていますし、いちいち移動してやりとりするのは大変です。Garoon で学園全体でのコミュニケーションが活発になること、また先生方の事務手続きが手軽になって教育研究の時間を確保できることを期待しています。



京都女子学園のお二人

詳しい使い方 掲示板、スケジュール、ポータル

――全学へのお知らせで「掲示板」活用

これまでは大学と小学校で別のサイボウズ Office に書き込んだり、紙で配ったりしていましたが、Garoon の掲示板に書き込めば全学へ通達できるように。伝達漏れの防止、情報が行きわたるまでの時間短縮につながりました。

★ 令和3年度の火災総合訓練の実施について（お知らせ）

カテゴリ：(全体)
 差出人：総務課 (); 総務課 2021年11月02日 (火) 09:08
 最終更新者： ; 総務課 2021年11月02日 (火) 09:08
 掲示期間：2021年11月02日 (火) ~

各位

令和3年度の大学における火災総合訓練を以下の日程にて実施いたしますので、よろしくお願いたします。
 詳細については追って、ご依頼・ご案内をいたします。

記

- 日時 令和3年11月24日(水) 14時00分～14時40分
(学生は14時30分まで)
- 場所 京都女子大学東山キャンパス (B校舎)
大学B校舎構内を対象とし、講義時間中の火災発生を想定し、避難方法や避難経路、火災発生時の初動等を確認・検証する。
- 対象 大学教職員、学生
- 協力 東山消防署
- スケジュール
13時45分～14時00分 訓練準備、打合せ
14時00分～14時30分 訓練

火災総合訓練の実施を掲示板でスムーズに通達

—学内の施設予約で「スケジュール」を活用

Garoon 導入時にグループウェアで管理する施設を増やし、他の学校内の会議室も予約できるように。施設グループを設定して管理しています。施設ごとの運用ルールはメモ欄に記載しています。

施設	09/30 (木)	10/01 (金)	10/02 (土)	10/03 (日)	10/04 (月)
会議室 A504会議室 会議室 A502会議室 会議室 A503会議室	会議室 部局長会 [A504会議室] 会議室 大学IR室 [A502会議室]				会議室 大学・京都女子大学連携企画<宗教教育センター> [A502会議室]
会議室 L校舎1階応接室 会議室 L校舎2階応接室	10:00-21:00 入学センター作業 [L校舎1階応接室] 09/27 (月) -18:00 学内奨学金出願受付 [L校舎2階応接室]	10:00-18:00 入学センター作業 [L校舎1階応接室]	10/01 (金) -12:00 P C R 検査会場キット配布場所 [L校舎2階応接室]		13:00-15:00 学部事務課 [L校舎1階応接室]
会議室 文中ホール		12:00-17:00 課外体操教室 [文中ホール]			
会議室 U校舎 (幼児教育棟) 和室			09:30-13:00 着付教室<中学校> [U校舎 (幼児教育棟) 和室]		09:30-15:30 着付教室<中学校> [U校舎 (幼児教育棟) 和室]

施設予約や予約状況の閲覧権限など、運用ルールは施設のメモ欄に記載

Garoon のポータルで X-point の承認状況を確認したり、申請を検索したりできます。Garoon と X-point はシングルサインオンできるので、1 クリックで画面遷移可能です。Garoon を介して X-point を利用する導線を整備し、Garoon にログインするきっかけを作っています。日々の業務に必須の機能をグループウェアに載せることで、利用浸透しやすくなります。



Garoon のポータル上で X-point での承認状況を確認したり、申請を検索したりできます。